

下関大会 中四国連盟事務局報 第3報 2014年12月21日発行

添付資料2) 旅館部屋割り表

- 1) 大会ホームページ 新田さんが工事中です。
大会番組は「エスペラント図書館」館長新田隆充さんに一任してあり一般向け「大会案内書 第2報」で番組企画が紹介されるでしょうが、そのために必要な参加費と寄付金による予算案に依拠して新田さんが大会番組、司会・進行係、出演者編成などを構想を進めるでしょう。
- 2) 大会参加者は最少でも一般30人とする。
受付済みの参加予約は12人ですが、旅館貸切り33人分を満たすため、残り20人を全国から募集する。
青年学生を最少10人として、参加費用を無料に近づけ、旅費を援助する寄付金募集の努力を続ける。不足分の出費はHECが保証する。
- 3) 一般の参加費@3000円(21000円領収済)、30人で90000円の支出配分は新田さんに一任してありますが、11月1日の昼食が未定、とか、雑費などまだ1年先のことなので計算していません。
とくに、大学キャンパスの宿泊用寝具は12人分用意できる見込みで、山口県や北九州、福岡の友人たちに個別に自宅に余っている夜具の寄贈、運搬を依頼して貸し布団@2500円出費をゼロに近づけましょう。

韓国青年の旅費補助は@30000円(寄付金27000円領収済)で3人、予算は90000円です。日本側青年学生(JEJ)の参加旅費補助は今後の寄付金(目標20万円)で予算を立てましょう。
JEJ青年学生の参加募集、受付、予算配分を新田さんに一任します。予算規模は375000円です。旅館宿泊費用のみ連盟事務局扱いです。
- 4) 大会案内書の 宿泊C)大学キャンパス
「暖房なし、浴場なし」を削除します。寒ければ石油ストーブが使える。旅館「小天狗」で宿泊者との交流のついでに無料で入浴できるように連盟事務局が旅館と交渉します。
忍岡が事前に下見に行き、寄贈の寝具2人分など現地へ運びます。

おしおかm